

七月五日

五家子水流峯方面へノ敵ノ出撃ヲ顧慮シ步兵  
 第七十六聯隊ノ一中隊ヲ五家子ニ増援シ野戰重  
 砲兵第五聯隊本部及一中隊ヲシテ蓮花洞附近  
 ニ陣地ヲ占領セシム

三師團長ノ國境守備隊ニ對シ沙草峯南方高地  
 附近滿領内ニ在ル敵ヲ全ク國境外ニ驅逐スル  
 コトヲ命ゼシモ時恰モ夜ニ入り部隊ノ集結困難  
 ニシテ守備隊長ヨリ本夜ノ攻撃不可能ナルヤモ  
 知レストノ報告アリ師團長ハ之ニ對シ爲シ得ルハ  
 夜襲スヘク命ゼシモ之ヲ實施スルニ至ラス

四此ノ夜諸隊ハ所命ノ如ク行動シ拂曉過マテニ步  
 兵第七十六聯隊ノ部隊ハ沙草峯西南方高地ニ步兵  
 第七十五聯隊ノ部隊ハ將軍峯ニ進出セリ

五師團長ハ狀況ニ惡化スルヲ顧慮大ナルヲ判断シ既ニ

五、師團長ハ狀況ニ惡化スルヲ顧慮大ナルヲ判断シ既ニ

招選

羅南ニ歸還セシ部隊ヲ招致ス

沙草峯事  
件願スル節  
團長觀察

六沙草峯衝突事件ニ関シ師團長ハ次ノ如ク觀察  
セリ

リ七月十四日以來報載峯ニ於ケル蘇兵ノ不法行為

ニ對シ帝國政府ハ先ツ外文交渉ニヨリ目的ヲ

達成セントシ之カ爲外文ノ後據トシテ兵力ヲ

豆滿江右岸ニ集結シ交渉進捗セサル場合ハ實

力ヲ行使スルモ亦已ムヲ得スト爲セリ其ノ後七月

二十五日マテハ外交交渉思ハシカラズ而モ聖慮ニ依

リ軍トシテハ實力行使ヲ断念シ既ニ豆滿江畔

ニ出動セル軍隊ヲ撤シ爾後ノ交渉ハ一ニ之ヲ外交

ニ交スコトトセラレ師團ハ誠實ニ著々其ノ實行ニ

着手セリ然ルニ外交交渉ヲ依然進メアルノ際

蘇軍ハ我軍隊ノ撤退準備殊ニ撤退ノ實施

師團長カ特ニ斯ノ如ク進據ヲ與ヘタルハ此ノ時マテ  
 不擴大ノ爲第一線部隊ニ對シ努メテ戰鬪ヲ回  
 避スル如ク屢ニ要望シアリ然レトモ今ヤ情勢逼  
 迫シアリテ若シ敵ノ積極的攻勢企圖ニ對シ  
 第一線部隊カ戰鬪回避ニ終始センカ不測ノ  
 結果ヲ招來スルノ虞アリ而モ此ノ機微ナル情勢  
 ニ於テ敵ノ進攻ニ對シ機ヲ失セス反撃ヲ加フル  
 ハ第一線部隊長ノシ能ク決シ得ル所ニシテ一ニ  
 其ノ決心ニ俟タサルハカラス而シテ此ノ決心ハ事極  
 メテ重大ニシテ第一線指揮官トシテ責任上大イニ  
 決心ニ留ムハク爲ニ機ヲ失スルコトナシトセス之ヲ  
 以テ敵ノ進攻ニ對シ反撃ヲ加フルノ決心ニ關シテハ  
 師團長自ラ責ニ任スルヲ適當ト認メ茲ニ第一線  
 部隊長ニ對シ具體的進據ヲ與ヘタル次第ナリ

九情勢ニ對スル判断ハ佐藤大佐、千田中佐ヲ初メ  
 當時前線ニ在ル將校ハ全然師團長ト符合  
 シ敵ノ計畫的挑戰攻撃ヲ疑ウモノナク之ヨリ先  
 佐藤大佐カ機先ヲ制シテ夜襲ヲ決行スルノ覺  
 悟ヲ各指揮官ヲ集メテ傳フルマ全員勇躍シテ  
 之ニ應シ固ク必勝ヲ信セリ  
 佐藤大佐ハ一般ノ地形特ニ敵配備ノ關係上目  
 下紛争ハ沙草峯西南方高地方面ニ在ルモ  
 張鼓峯ノ敵陣地ヲ奪取セサレハ沙草峯西  
 南方高地ノ敵ヲ撃破スルモ二十九日第一回ノ如キ  
 攻撃ヲ反覆スルニ過キサル結果トナルヲ信シ  
 反撃ノ重點ハ寧ロ之ヲ張鼓峯ニ指向シ一與  
 二禍根ヲ断ツヲ適當ト認メ部署スル所アリ  
 十、張鼓峯ノ攻撃部署ニ就テハ七月十七日午前

張鼓峯攻撃  
 部署ノ研究

2088